



スペシャル拡大版

連載企画

“一丁嚙”が行く！ 第18回：1おふらいんチョット

皆さん、こんにちは、一丁嚙（いっちょかみ）です。

2001年8月、(有)中小企業診断所（略称：エス・ビー・シー Small Business Coordinator）という会社を立ち上げました。いわゆる経営コンサルティング会社なんですが、ITの有効活用からITと経営戦略、経営全般（ヒト・モノ・カネ）に関するご相談、助言に応じています。いろいろな人と知り合うことが自分自身の成長にもつながるという思いと、多くの人にも人との出会いの場を提供したいという思いで2001年秋、「おふらいんチョット」という“人が集まる場”を作りました。なんにでも首を突っ込みたくなるいっちょ嚙みの会というわけです。

毎週金曜日の夜、SBCの事務所内で500円で発泡酒飲み放題という飲み会を主宰したのです。

「おふらいんチョット」というのは、まさに“オフライン”(仕事が終わって)に、“ちょっと”立ち寄ってもらえるということから、オンラインチャットをもじって付けた名前です。

最初はあちこちに声を掛けて来ていただいたのですが、そのうち口コミで来てくださる方が増え、いつしか“おふちょ”という略称で、金曜日の夜の社交場となっていました。毎回いろいろな方が来てくださいました。多いときには20人近くの方で足の踏み場もないといったこともありましたし、また、お越しいただいた方がたったお一人ということもありました。

“おふちょ”という名の毎週金曜日の夜の飲み会、2年ほど続けました（誰もお越しにならなかったのはたった2回だけで、延べ約1,000名の方々にお願いいただきました）が、さすがに毎週金曜日の夜には絶対に事務所にいなければならないというのと、メンバーがだんだん常連化してきている人と知り合うという当初目的が薄れてきたという理由から、2003年10月、おふちょをリニューアルしました。単なる飲み会から、誰かスピーカーのお話を聞いてから飲むという勉強&懇親スタイルに、そして開催頻度もひと月に一度に変えました。

最初はウイングス京都で勉強会をやり、近くの居酒屋に席を移して懇親会というスタイルでしたが、懇親会になると参加者が半分以下になることもあり、今では四条河原町付近のミュンヘンというビアホールの一室を借りて開催しています。

この“おふちょ”、正式名称は「人脈拡大交流会『おふらいんチョット』』として、第1部はスピーカーによるお話、第2部は懇親会という設営で今も毎月開催しています。特に難しい参加資格はありませんし、会員制でもありません。来たい人が来るという開けっぴろげな会です。

今では、中小企業者をはじめ、学生、サラリーマン、主婦、政治家、行政担当者、僧侶、落語家などなど、いろいろな立場や職業の方がお見えになっています。

自らの人脈を広げたり、ビジネスパートナーを求めたり、自社の宣伝をしたり…

公序良俗に反すること以外ならなんでもありのおふちょ。興味のある方は是非ご一報ください。

(おふちょのページ <http://www.sb-clinic.com/business/offcho.html>)

B-CASの見直しが本格化

B-CASカードが抱える問題について

薄型テレビなど地デジが映る製品には必ずついてくるB-CASカード、これを挿入しないと薄型テレビなどの製品は何も映ってくれません。実は問題点を書くだけでも半ページでは書ききれない程問題だらけです。一部だけまとめてみますと・・・

- 本来的には著作権保護の為、不正コピー防止を目的をしているのだが、既にコピーが自由にできてしまう地デジチューナーが市販されているので機能を果たしていない。
- 一民間企業が日本の全世帯の視聴の可否を物理的に制御できてしまうという現在のシステムは独占禁止法違反の疑いがあると指摘されている。※株式会社ビー・エス・コンディショナルアクセスシステムズ
- コピーワンスという地デジ放送のダビングを1度に限る制度を導入した際の理由であった「著作権者からの要望」は嘘である事が後に発覚したり、公共的にも影響力の企業であるにも関わらず、株式を非公開とし資産状況などを一切非公表とするなど公益性の問題。
- “日本のテレビを視聴する全世帯”という民間企業として日本最大規模の個人情報を有する事が予想されるにも関わらず、プライバシーマークすら取得していない一民間企業が独占所有している事に対する個人情報という観点からの問題。
- ややこしい事は割愛しますが他にもあげればキリがないほど色々・・・

そんなこんなで、

「そもそもB-CASとか煩わしい。アナログと同じ利便性を持たせよう」

「災害時や緊急時にB-CASカードの有無で視聴できないとか論外だ」

「このシステムを継続させるとしてもB-CASはコストがかかり過ぎ」

「既にコピーが自由にできてしまうのだから存在意義がないのでは？」

という意見から、放送業界、メーカー、権利者、消費者の各代表が集まる情報通信審議会 情報通信政策部会 デジタル・コンテンツの流通の促進等に関する検討委員会で、2011年のデジタル全面移行時までには制度を再検討し、検討された結果の運用が開始されているのが望ましいとし、今後も議論していく事が発表されました。

私たちのような消費者からすれば、薄型テレビ買ったつもりが知らない間にB-CASカードの料金まで払っていて、個人情報提出させられたあげくに、ダビング回数に制限をかけられるという、何とも言い難い問題なので、今後動きがあれば取り上げていきますね！

ホームページは <http://www.sysport.co.jp> または【シスポート】で検索！！！！

連載 Qinfo 担当者のつぶやき

いつもお世話になります。Qinfo担当者の倉橋です。
私自身が無知な為にトンチンカンな事を書いていたり、誤字脱字だらけで大変読みにくかったりとは思いますが、それでも皆様のおかげで発行から無事に1年半を迎えることができました。ほんとうにありがとうございます。

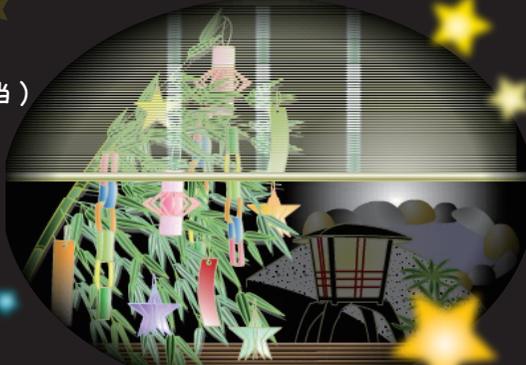
さて、今日は私自身が最近感じる事を書かせていただこうと思います。
SYSPOORTの本業は業務ソフトを開発・販売しているソフト会社です。創業が1981年なので私が生まれる前からやっている事になります。
まだ髪の毛もあって若かったであろう(怒られそう)米田社長の元、販売管理を中心としたソフトを3,000社以上の中小企業に導入してきました。ただ、28年もやっていると市場環境も大きく変わってきたと思います。
真っ黒なパソコンの画面に業務ソフトが動いており、業務専用の機械であったコンピュータ達は、多岐に渡る機能を持ち、事務所に数台あったものが一人に一台という時代になりました。当然使い手のニーズも変化します。
「もっと請求書を早くほしい」という業務直結の要望中心だったのが、「スタッフのスケジュールやドキュメントの管理も効率的にしたい」とか「ホームページとSEO対策を考えている」というような、元々我々が行ってきた守備範囲より少し外側のリクエストも多くなってきました。

パソコンのまわりが埃だらけだけじゃ配線がわからないので何とかしてとお願いされて私が訪問したついでに掃除をしたり、このQinfoのデザインの仕方を聞かれたり、メールアカウントの引っ越しを依頼されたり・・・と。

本来、我々はソフト屋ですので、そのようなリクエストがあった場合、やんわりとお断りするか、適当ない訳をして逃げてしまうか・・・
というような事をしてきました。

しかし、私はシステムアドバイザー(サポート担当)という一番お客様に近い所において、お客様の声を直接お聞きする事が多いだけに
「そのような多岐に渡る、現代的な要望にも応えたい」と日々思っていました。

・・・と書ききれないので続きは次回に書かせてもらいますね(笑)



わかりやすい!

難しい用語を使わない! IT講座

Vol.19

USBのいろは

プリンターとパソコンの接続はUSBが主流ですね。
USBフラッシュメモリーでもUSBを使います。
iPodなど携帯音楽プレイヤーや携帯電話をパソコンに接続するのもUSBですね。
おもしろいものでしたら、USBのマグカップウォーマーや簡易冷蔵庫、扇風機と加湿器などアイデア商品を探してみればキリがないほどUSBでパソコンと接続する機器はたくさんあります。
でもよく考えてみるとUSBっていったい何なのでしょう?

USBとはUniversal Serial Bus:ユニバーサル・シリアル・バス)というシリアルバスの1種で、シリアルバスとはパソコンと機器を繋ぐ方法の名称です。
細かく説明するとややこしいのでここでは割愛してしまいますね。
とにかく【シリアル】という方式でパソコンと接続する世界標準の規格。みたいな感じです。

- 難しいお話はさておいて、USBの特徴と言うと・・・
- ・ 情報の通信が出来る(プリンターなどに印刷する情報を送る事ができますよね!)
 - ・ 低出力だが電源を供給できる(iPodや携帯電話の充電ができるのはこの為です!)
 - ・ 最大伝送距離が5mと制限がある(5m以上のUSBケーブルが売ってないのはこの為です)
 - ・ 世界標準でどんなパソコンでも必ず接続端子がついている(10mm×5mmくらいの長方形のやつ)と言う事があげられます。

需要があるので日々進化しておりまして現在の主流はUSB2.0という規格ですが、今年の末くらいにもUSB3.0という新しい規格のUSBが登場する予定です。
古いWindows98などのパソコンだとUSB1.0やUSB1.1のUSB端子しかない場合があります。
USB1.0 ~ USB3.0の差を大まかに書いてみますと・・・

規格名	通信速度	備考
USB1.0	12Mbit/s	既に旧式で古いパソコンのみに搭載。 ここでは省略したがUSB1.1以降のバージョンで下位互換がある。
USB2.0	480Mbit/s	現在の主流で発売されているUSB機器のほぼすべてがUSB2.0。 最大伝送距離は5m。供給電力は500mA(5V)である。
USB3.0	5120Mbit/s*	2008年11月に仕様が発表された最新の規格で市場で出回るのは来年以降? ? 最大伝送距離が5mから3mになった反面、供給電力は900mA(9V)に増えた。 <small>*5 Gbit/s</small>

今後スタンダードになると思われるUSB3.0は現在の主流であるUSB2.0の10倍以上の通信速度を誇る上に、共有電力も900mAに増える反面、最大伝送距離は5mから3mに短くなり、短所もあるようです。
USB3.0の登場は速くて今年末だと言われているので、最新OSである【Windows 7】といっしょにデビューするような感じでしょうか?
しばらく新しい事がなかったパソコン業界ですが、今年末頃には新しい風が吹きそうな予感がしますね。

シスポート株式会社
[発信元]
〒610-0361 京都府京田辺市河原平田23-16
TEL (0774)-63-1131 FAX (0774)-63-1130
e-mail info@sysport.co.jp
HomePage http://www.sysport.co.jp